



策定の趣旨

○読書の意義

- 子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの
- **すべての子どもが自主的に読書活動をおこなうことができるよう、社会全体で環境整備に取り組むことが必要**

○計画の位置付け

- ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」に規定する都道府県計画
- ・「福井県教育振興基本計画」を踏まえた個別計画

○計画期間

令和7～11年度(5年間)

○「読書」の範囲

- ・1冊の本(文学作品等)を読み通すことだけでなく必要な情報を得るために資料を読むことも「読書」
- ・図書、雑誌、新聞等の紙資料、電子書籍等

福井県の現状

ふだん読書しない 児童生徒が増加傾向

- <平日に読書時間が全くない児童生徒>
小6 R1: 15.5%→R5: 24.6%
中3 R1: 32.1%→R5: 37.8%
- <1か月に1冊も本を読まない高校生>
R1: 43.8%→R5: 46.3%

読書が好きな児童生徒が 全国に比べて少ない

- 小6 R5: 県 68.6%(全国71.8%)
- 中3 R5: 県 64.1%(全国66.0%)

スマホ時間が増える一方、 読書時間が30分以上の 児童生徒が全国に比べて 少ない

- <スマホ時間30分以上>
小6 H29: 35.0%→R6: 67.0%
中3 H29: 62.5%→R6: 89.0%
- <平日の読書時間(小6)>(R5)
30分以上 県31.7%(全国37.3%)

課題

- 自主的に読書を楽しむ児童生徒の割合が全国に比べ少ない傾向
- 小学生までの読書習慣の形成が不十分
- 新型コロナウイルス感染症の影響により本に触れる機会が減少

情勢の変化

- 国の第五次「子どもの読書活動に関する基本的な計画」(R5.3策定)
- 教育におけるデジタル化の進展
- 学習指導要領の改訂と実施 (H30～順次実施)
- 県「教育に関する大綱」(R6.10策定)
- 国の第6次「学校図書館整備等5か年計画」(R4.1策定)
- 国の「読書バリアフリー基本計画」(R2.7策定)
- 「こども基本法」(R4.6制定)
- 新型コロナウイルス感染症の影響

基本目標・基本方針

○基本目標

子どもたちが本と出会い、 読書を楽しむ環境づくり



～ワクワク・ドキドキ

「読書って楽しい」「知ることってうれしい」をサポート～

○基本方針

- (1)子どもと本との**出合いの創出**
- (2)子どもの読書を支える**人づくり**
- (3)子どもの読書に関わる**情報の収集・発信**

取組みにおける新たな視点

- (1)**デジタル社会**に対応した読書環境の整備
- (2)多様な子どもたちの読書機会の確保(**読書バリアフリー**)



第4次福井県子どもの読書活動推進計画の主な取組み

家庭・地域

○県立図書館に電子書籍を導入し読書機会を拡充

デジタル社会への対応



出会いの創出

○ジュニア司書養成講座を推進し読書リーダーを育成



人づくり

○学校図書館サポーター、読み聞かせボランティアを育成し地域人材を拡大、地域活動を強化



家庭

- (出) 県内全市町でブックスタート事業を実施
- (出) 子どもの成長段階に応じた推奨図書の小冊子を図書館等で配布
- (出) 作家等を招いた講演会などを実施し、県民全体の読書活動を推進
- (情) 保護者を対象に読書の楽しさや意義の理解促進を図る講座等を開催

図書館（地域）

- (出) ジュニア司書の養成・育成、子どもの視点に立った読書推進
- (出) 子どもの成長段階に応じた推奨図書の小冊子を図書館等で配布
- (出) 県立図書館への電子書籍サービスの導入【デ】【バ】
- (出) 県立図書館の検索システムに書店の在庫を確認できる機能の追加【デ】
- (出) 郷土資料のデジタル化を進め、学校等の探究学習での活用を促進
- (出) 図書館での本の紹介、読み聞かせ等の実施
- (出) 図書館が、読み聞かせやブックトーク等を行う学校訪問を実施
- (人) 子ども読書ボランティア向け相談会や講座の実施
- (人) 県立図書館で、県内図書館職員の資質向上を図る研修を開催
- (情) 子ども読書ボランティアへの読み聞かせ情報提供【デ】

地域

- (出) 児童館、児童クラブ、こども食堂等での読書に触れる機会の拡充
- (人) 学校図書館サポーターの育成・養成
- (人) 読み聞かせボランティアの育成・養成、レベルアップ支援
- (人) 読み聞かせボランティアカンファレンスの実施
- (情) 児童館での図書整備に推奨図書の情報の提供や助言等の実施【デ】

学校等

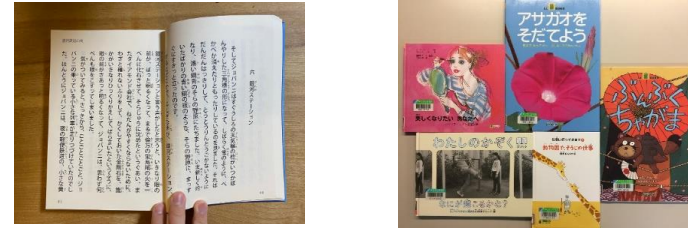
○学校図書館の機能を活用した授業や読書タイムを推進し、さまざまな読書活動を展開

出会いの創出



○バリアフリー図書の充実、バリアフリー図書の貸出を行い多様な子どもたちの読書機会を拡充

読書バリアフリー



大きな文字で読みやすい大活字本

分かりやすく書かれたLLブック

幼稚園・保育所・認定こども園等

- (出) 推奨図書の紹介や図書整備、読書活動についての助言等を実施
- (人) 幼稚園教諭・保育士等を対象にオンライン研修の実施【デ】

小学校・中学校・高等学校

- (出) 学校図書館の機能を活用した授業や読書タイムの設定、家庭読書などを推進
- (出) 読書を楽しむために、校内ビブリオバトル等の取組みを推進
- (出) 文学賞への応募など自分も書き手となる取組みを推進【高】
- (出) 児童・生徒用タブレットでの蔵書検索システムの導入を進め、学校図書館の活用を推進【デ】
- (人) 管理職や学校図書館の運営を担う教職員等を対象とした図書活用研修を実施【デ】【バ】
- (人) (出) 学校司書の配置や学校図書館の充実を市町へ働きかけ【小・中】
- (情) 高校での学校図書館を活用した読書推進の取組みの紹介、発表【高】

特別支援学校

- (出) バリアフリー図書(点字図書、LLブック等)の充実の推進【デ】【バ】
- (出) バリアフリー図書体験セットの貸出【バ】
- (出) 図書館からの図書貸出を支援し、希望する本の貸出、配送を実施【バ】

基礎となる取組み

○幅広いジャンルから推奨図書を選定し、取組みに活用

情報の収集・発信



小学校での推奨図書展示
図書館のコーナー



推奨図書小冊子(幼児編・小学生編・中高生編)

すべての基礎となる県の取組み

- (出) 子どもの成長段階に応じた推奨図書の選定、普及
- (出) 図書館、書店等で推奨図書のコーナー設置を呼びかけ
- (出) 市町の子どもの読書活動推進計画の策定および見直しの支援
- (人) 子ども読書ボランティアの優れた活動を積極的に表彰
- (情) 子どもの読書活動に関する情報を集約したホームページを作成【デ】【バ】
- (出) (人) 情) 学校・家庭・地域のそれぞれが連携・協力しながら効果的に推進

凡例

○基本方針

- (出) … 出会いの創出
- (人) … 人づくり
- (情) … 情報の収集・発信

○取組みにおける新たな視点

- 【デ】… デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 【バ】… 読書バリアフリー

青字… 新規事業